

令和5年度の重点課題

- 5年生男子
ほとんどの種目が県平均値かつ全国値より低い。
- 5年生女子
運動やスポーツに対して肯定的な思いをもっている。全種目県平均値かつ全国値より低い。
- 共通
ほとんどの種目において、県平均値かつ全国値より低い。ボール遊びをする児童が多いが、走力を高めることができる鬼ごっこをする児童が少ない。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

<体育の授業で行った取組>
○体育の授業で行うサーキットトレーニングで反復横跳びやタイヤ跳びなどを行い、リズムよく素早くサイドステップすることを意識して取組んだ。
○学級レクや体育の準備運動に、体力向上のための運動や体が柔らかくなるストレッチを取り入れた。
<体育の授業以外で行った取組>
○なわ跳びチャレンジや大なわ大会など学級や個人で目標をもち、継続して運動に励むことができる取組を行った。
○体育委員会活動
体力テストの項目に沿ったストレッチや準備運動を紹介する動画・スライドなどの作成を通して、体育の授業や体育的イベントなどで効果的に活用した。
○なわ跳びジャンプ台の積極的な活用
全身の筋持久力を高めるためになわ跳びは有効な運動である。各学級でなわ跳びカードを作成し、意欲的・継続的に取組ませた。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.3	18.40	36.40	40.20	48.70	9.50	155.40	25.80	53.70	第5学年	16.80	22.90	45.90	42.60	47.30	9.00	154.60	16.10	62.80

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.3	18.40	36.40	40.20	48.70	9.50	155.40	25.80	53.70	第5学年	16.80	22.90	45.90	42.60	47.30	9.00	154.60	16.10	62.80

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	90.91	9.09	0.00	0.00	第5学年	62.50	25.00	12.50	0.00

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 体育の授業で行うサーキットトレーニングで、腹筋や反復横跳びなどを行い、リズムよく素早いサイドステップ、安定した体幹を身に付けることを意識して取り組ませる。
- 指導者に鬼ごっこ等、走力を高める様々な運動を紹介し、体育の授業で取り組ませる。

体育の授業以外で行う取組内容

- 体育的イベントの開催
大なわ大会など、学級で目標を持ちながら継続して運動に励むことができる取組を行う。
- 体育委員会活動
体力テストの項目に沿ったトレーニングを紹介する動画やポスターなどを作成し、体育の授業等で効果的に活用してもらえよう周知を図る。
- サーキットトレーニングマニュアルの積極的な活用
敏捷性や筋力・筋持久力を高めるために、体力テストで平均値よりも低い項目を繰り返し鍛えることができるサーキットトレーニングは、有効な運動である。体育委員会でサーキットワークを企画し、取り組んだ回数を記入できるよう、記録用紙を作成し、意欲的に取り組むことができるようにする。

重点課題

情意面での課題

運動やスポーツに対して、肯定的な思いを持っていると回答している児童が男女問わず多いが、否定的な思いを持っている児童も一定数いる。

体力面での課題

「握力」「上体起こし」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」において、男子の記録が、平均を下回っている。

令和7年度の重点目標値

- 一日の平均運動実施時間が30分未満の児童を、全校で15%以下にする。(2月にアンケートを実施)
- 週3日以上運動する児童を、全校で70%以上にする。(2月にアンケートを実施)
- 「握力」については、前回の学年平均値を上回るようにする。(2月に再度、記録を測定)